



皆さんの声を積んで市政に届けるバイクの人

日本共産党
榎原市議会議員

竹森たけむり

白檀町5丁目1番UR榎原団地12-108号

NO. 191

2013年4月

☎27-8245

◎25年市議会3月定例会の報告

――3/6~3/7常任委員会・3/8~3/11予算特別委員会 3/22本会議最終日

日本共産党は平成24年度の補正予算や水道料金が下がる条例改正議案などに賛成しました。一般会計や国民健康保険特別会計など7つの議案に反対しました。委員会に付託されたすべての議案が賛成多数で可決しました。22日(金)本会議でも竹森が7つの議案に反対しました。

日本共産党市議団は①生活保護基準の堅持と老齢加算復活を求める意見書②TPP(環太平洋経済連携協定)参加に反対することを求める意見書提出しましたが賛成少数で否決されました。

①8月1日より上水道料金が下がります。

【榎原市上水道給水条例の一部改正議案厚生常任委員会可決】

榎原市の上水道は自己水が20%、奈良県から80%の受水でまかっています。今回奈良県の受水費用が榎原全体で前年度と比較して1億6千万円下がります。条例改正で一世帯一年間で2,160円(10m³使用の場合)3,360円(20m³以上使用の場合)の減額になります。

日本共産党市議団として賛成します。

②暮らし、教育、福祉や地域活動にかかわる予算について

☆平成24年度3月補正予算は賛成です。NO, 1

*都市公園事業費 189,000千円(一億八千九百万円)

①榎原運動公園耐震貯水槽実施設計委託及び設置工事80,000千円(8千万円)

榎原運動公園プール長寿命化整備工事60,000千円(六千万円)他

☆平成25年度一般会計予算は反対です。

*地方自治体としての在り方など反対する点 NO, 1

①福祉センター(やわらぎの郷)管理運営事業 98,900,000円

当時建設費用に20億円、その後の修理などランニングコスト2億5千万円

かけている施設を市直営から指定管理者制度を実施して民間企業にまかす。

高齢者福祉の施設として建設されたものをなお70歳以上の方から100円の使用料を徴収する。(昨年この条例改正案には日本共産党以外の議員賛成)

②学校給食の調理洗浄部門を民間に委託する(13小中学校)157,000,000円

*市民生活にとって評価できる点 NO, 1

①畝傍東小学校区公設民営第3学童保育所施設整備工事 23,988,000円

【保護者の皆さんと共に粘り強く要望して実現にこぎつけました。】

②(仮称)こども総合支援センター整備工事(白檀南小)360,000,000円

③太陽光発電システム設置補助金 10,000,000円(5万円×200件分)

④猪害に対する対策 2,000,000円

裏面もご覧ください



◎竹森まもるの一般質問の概要と 3月13日 その① 森下市長など理事者の答弁 — — — 問—答方式

⑨竹森や同僚の議員に笑みがこぼれています。下段写真 理由は最初議席番号を24番と言ってしまいました。12年間議場で座っていたからです。前列5番

* 体罰について

質問 — — — 学校教育や一般社会でも体罰や暴力は許されるものではありません。学校教育法第11条で懲戒として体罰を明確に禁止しています。体罰を理由に処分を受けた教職員は最近10年間で平均400人です。2011年は404人、そのうち3割が部活動によるものでした。根性主義、勝利至上主義にとらわれて団体競技に多いのも特徴です。生徒指導、部活動における体罰の現状、5年間の推移は？ 停職処分を受けた先生方のケアはどうしているのか。

答弁（教育総務部長） — — — 平成20年度に県教育委員会から綱紀粛正の通知が出されている。しかし橿原市内で数件の体罰が発生している。部活動で2件、それ以外の授業など学校活動におけるものが4件で合計6件です。先生への処分の中で体調を崩され、自宅で病気等を癒している。

答弁（教育長） — — — 体罰とは上下関係を背景にした、物理的そして心理的な一方的な圧力出あると理解しており、あってはならないと思っております。

中略 — — — 指導者の技量不足であると思います。指導者が技量をつければ、体罰以外で選手がその限界を一つ一つ越えていく道筋を示せるということで考えておりますので、まず指導者の資質向上が一番重要であると考えております。

* 障がい福祉について

質問 — — — 昨年6月議会以降、難聴福祉問題で進められた施策、進んでいる施策は何でしょうか。

答弁（福祉部長） — — — 難聴対策として18歳未満の難聴児、聴力レベルが30から70デシベル未満で、補聴器購入の公費助成がはじまる。

質問 — — — 奈良県中南和地域に障がい児を預けるショートステイ、短期入所の施設の設置計画についてどのように考えているのか

答弁（福祉部長） — — — 重症心身障がい児、障がい者の医療ケアというところでは中南和にはないのがげんじょうである。橿原市として建設という考えはないが、例えば高田市立病院もそういう受け入れもさせていただいているので、その辺の連携も含めて進めていきたい。

《活動報告と生活相談》

①念願のやっと歩道の整備工事着工できる

国道169号線久米町（旧平井病院・薬局前）の歩道が狭く車椅子で通れないという切実な要望をうけて奈良県桜井土木事務所と交渉し調査費が予算化されたが、その後用地交渉もクリアでき安心して通行できる

②市議会議員選挙後も再びUR橿原団地前で恒例の土曜日夕刻マイク宣伝を始めています。早朝駅前宣伝も4年間で1,000回（日）目標です。現在25回です。

③国民健康保険税の相談が増えています。

